

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

本協会の事業年度の末日において、重要な債務の不履行等財政破綻の可能性その他、本協会が将来にわたって事業を継続するとの前提に重要な疑義を抱かせる事象または状況は存在しません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価法

①満期保有目的の債券・・・時価法にて評価している。

②満期保有目的以外の債券・・・該当する債権はない。

(2) 固定資産の減価償却について

①什器備品（事務所備品）・・・旧定額法にて実施している。

②什器備品（貸付機械）・・・定率法にて実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給与引当金・・・期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

平成23年度から公益法人会計基準(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会決定)を採用している。

4. 特定資産、その他固定資産（貸付機械）の増減額及び残高

特定資産、その他固定資産（貸付機械）の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付金引当資産	16,384,860	1,438,620	0	17,823,480
運営管理基盤強化資産	50,000,000	0	8,000,000	42,000,000
普通預金	10,000,000	0	3,000,000	7,000,000
定期預金	40,000,000	0	5,000,000	35,000,000
特定資産合計	66,384,860	1,438,620	8,000,000	59,823,480
その他固定資産				
貸付機械	898,764	0	224,691	674,073

5. 特定資産、貸付機械の財源等の内訳

特定資産、貸付機械の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
普通預金	7,000,000	7,000,000		
定期預金	35,000,000	35,000,000		
退職給付引当資産	17,823,480	17,823,480		17,823,480
合 計	59,823,480	59,823,480	0	17,823,480
貸付機械	674,073	0	0	0

6. 貸付機械の内訳

貸付機械の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

購入年度	前期末		当期償却額		当期除却		当期末		備考(売却)	
	購入金額	数量	残高		数量	金額	数量	残高	数量	売却金額
22年度	10,500,000	2	898,764	224,691	0	0	2	674,073		
合計	10,500,000	2	898,764	224,691	0	0	2	674,073	0	0

(注) ①貸付機械の種類は、ウェイトチェッカー、成型機等食肉加工機械である。

②19年度から税込価額とする。

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
食肉情報等普及・啓発 事業	公益社団法人 日本食肉協議会	0	8,495,489	8,495,489	0	—

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、預り金、未払金、を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	7,305,905	4,348,426
未収金	5,629,117	3,100,879
前払金	134,928	109,488
合 計	13,069,950	7,648,793
未払金	4,839,637	4,362,087
預り金	337,810	277,845
合 計	5,177,447	4,639,932
次期繰越収支差額	7,892,503	3,008,861